

6月14日 ゲスト卓話



草加八潮消防組合
草加八潮消防局局長
消防正監 浅井厚紀 様

消防広域化による八潮市民のメリット

1 災害対応の強化

① 現場到着時間の短縮

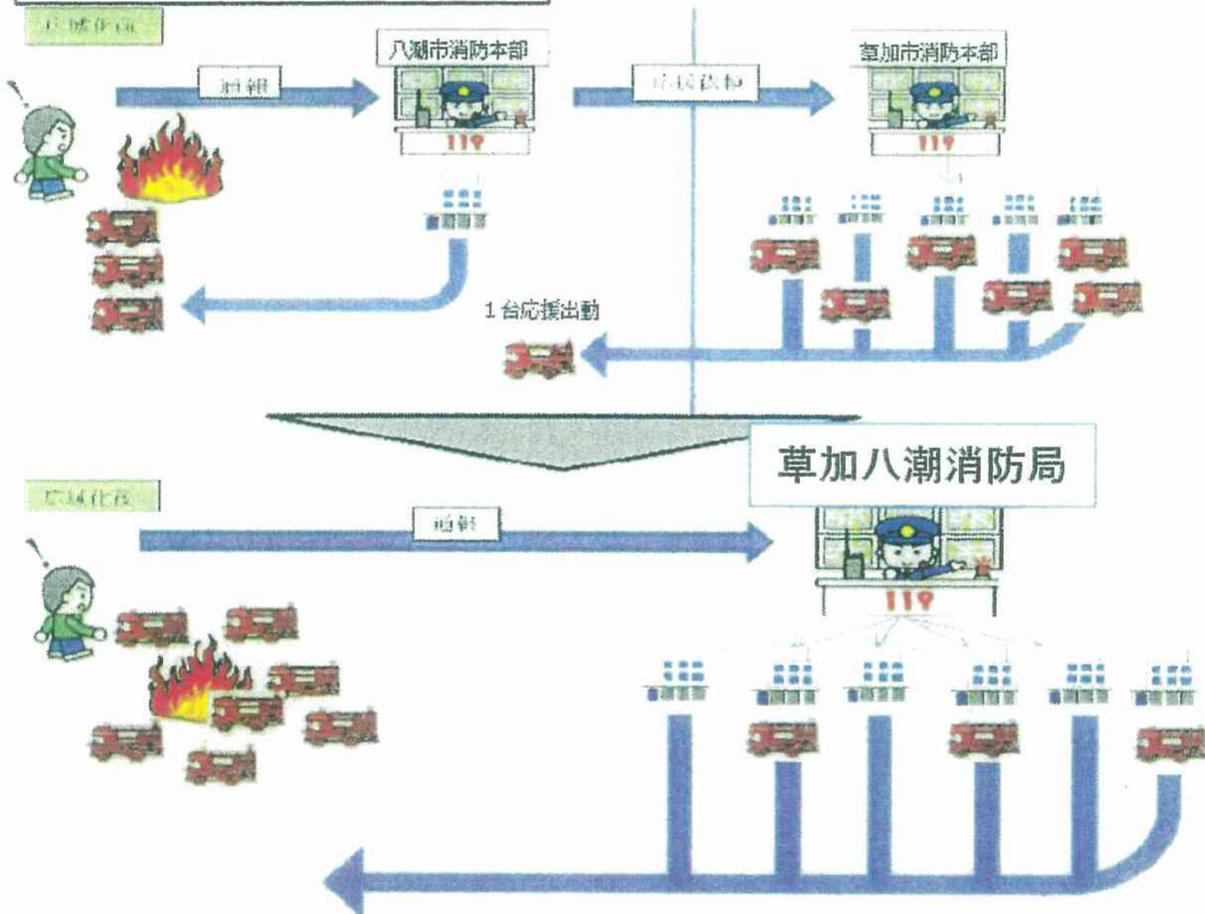
- ア 青柳分署直近（八條、新町）
- イ 草加署直近（南後谷）
- ウ 谷塚ステーション直近（西袋）

② 初動体制の強化

保有部隊数が増強され、初動時から災害規模に応じた部隊を投入することが可能となった

- ア 火災出動時の消防車両出動台数の増（ポンプ車3台→7台）
- イ 第2火災への対応が可能となった（待機車両0台→3台）

建物火災出動時のイメージ



2 財政負担の減少

広域化前と比較し、平成28年度は約4,650万円の減

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
消 防 費	広域化前	3,259,189千円	3,462,084千円	3,426,693千円
草加市負担	2,155,028千円	2,283,899千円	2,426,284千円	2,504,166千円
八潮市負担	1,021,809千円	975,290千円	1,035,800千円	922,527千円

消防広域化後の主な体制強化

① 高度救助隊の設置

平成29年4月

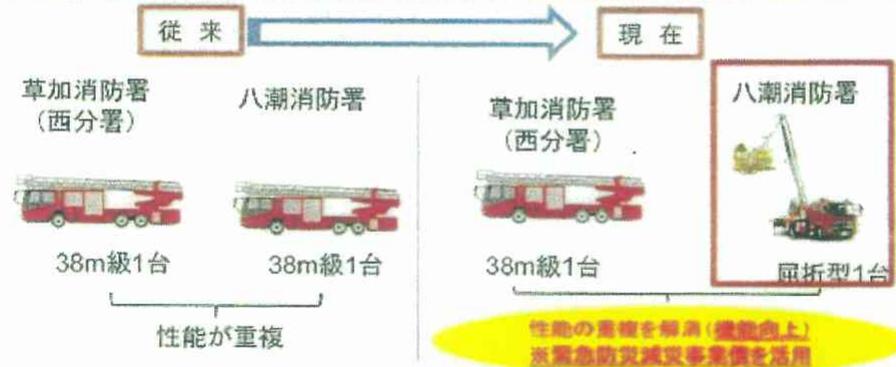


高度救助隊とは、人命の救助に関する専門的で高度な教育を受けた隊員と高度救助資機材を装備した救助工作車で編成される部隊で、県内では8番目の発足。
同隊は平成18年度から中核市等に設置することが定められている。草加八潮消防局では消防広域化により管轄人口規模が30万人を超えたことから、特別救助隊を格上げし高度救助隊を発足。

救助隊の区分	救助資機材の基準	配置の基準	隊員の編成
特別高度救助隊	高度救助資機材と地域の実情に応じてウォーターカッターと大型ブローア	政令指定都市及び東京都	人命救助の専門教育を受けかつ高度な教育を受けた隊員5名以上
高度救助隊	高度救助資機材（電磁波探査装置、二酸化炭素装置など）	中核市又は消防庁長官が指定する消防本部	人命救助の専門教育を受けかつ高度な教育を受けた隊員5名以上
特別救助隊	救助隊よりプラスアルファの資機材	人口が10万人以上の地域	人命救助の専門教育を受けた隊員5名以上
救助隊	救助活動に必要な最低限の資機材	人口が10万人未満の地域	人命救助の専門教育を受けた隊員5名以上

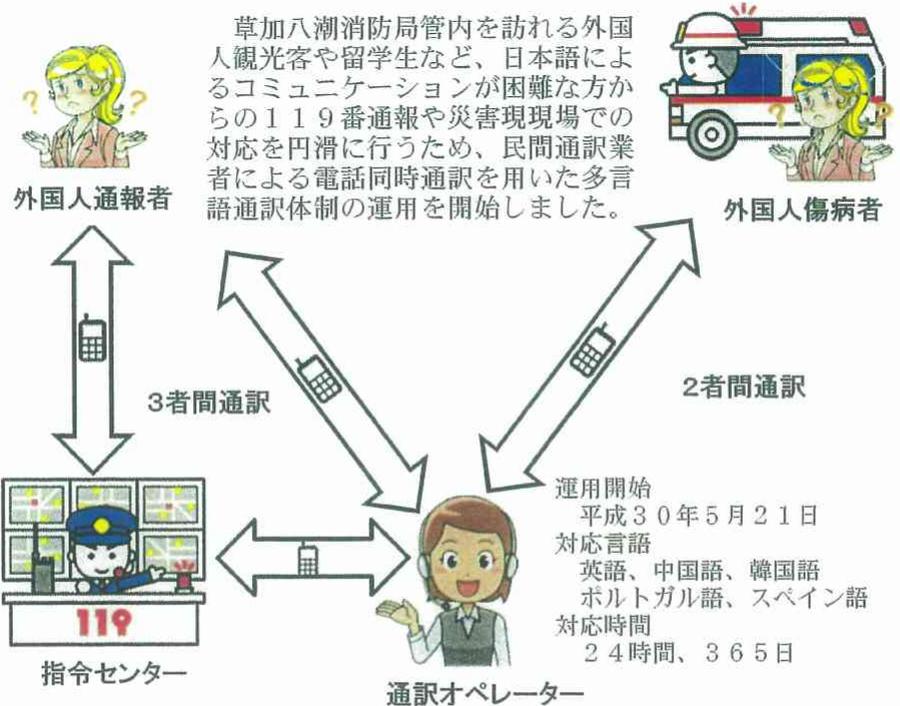
③ 重複消防車両の解消・機能向上

平成29年度事業



④ 119番通報等における多言語通訳の運用

平成30年5月



② 埼玉SMART(埼玉県特別機動援助隊)への登録

平成30年4月

機動救助隊 11本部

埼玉 SMART

県防災航空隊

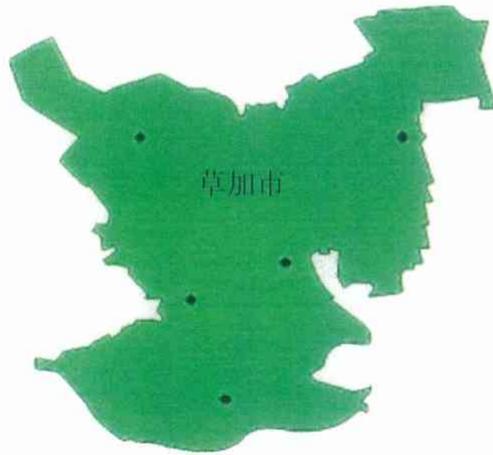
埼玉 DMAT 18機関

埼玉SMARTは、近年国内で発生している地震による建物崩壊や、列車脱線事故などを教訓として、同様の災害が発生した場合に迅速に対応するため平成18年に創設されたもの。
(出典:埼玉県HP)

草加八潮消防局は、平成30年4月1日に登録



平成30年2月9日(金)に草加市内で行った合同訓練



草加市消防本部 H27. 4

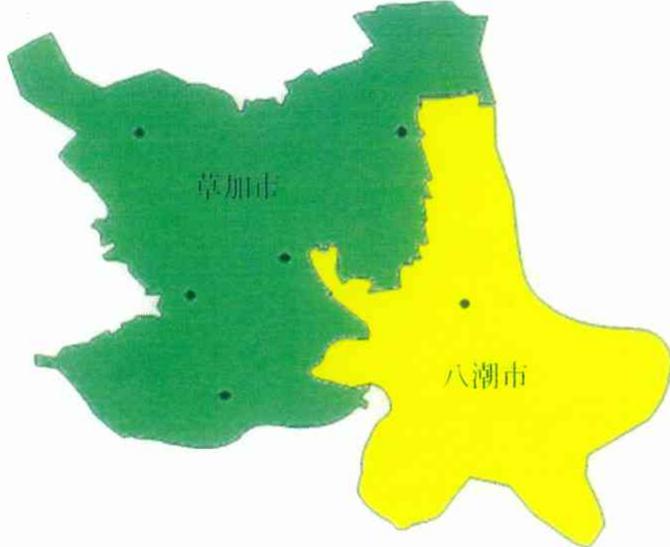
項目		県内
管轄面積	27.46km ²	23
管轄人口	245,481人	10
署所数	5署所	
職員定数	235人	
職員実数	234人	14
うち女性数	(6.8%) 16人	
救命士数	(26.9%) 63人	3
車両数		
消防自動車	7台	
救急自動車	7台	
はしご車	1台	
救助工作車	1台	
火災時消防車数	6台	
火災件数(27年中)	49件	
救急隊数	7隊	
救急件数(27年中)	10,855件	
予算額	2,155,028千円	



八潮市消防本部 H27. 4

項目		県内
管轄面積	18.02km ²	26
管轄人口	85,653人	22
署所数	1署所	
職員定数	96人	
職員実数	96人	24
うち女性数	(5.2%) 5人	
救命士数	(27.1%) 26人	2
車両数		
消防自動車	3台	
救急自動車	3台	
はしご車	1台	
救助工作車	1台	
火災時消防車数	3台	
火災件数(27年中)	13件	
救急隊数	3隊	
救急件数(27年中)	3,866件	
予算額	1,021,809千円	

職員数：県内8番目
救命士の割合：県内2番目



草加八潮消防局 H28. 4 H27. 4

項目	草加八潮消防局	旧八潮市消防本部	増減
管轄面積	45.48km ²	18.02km ²	27.46km ²
管轄人口	332,520人	85,653人	246,867人
署所数	6署所	1署所	5署所
職員定数	331人	96人	235人
職員実数	328人	96人	232人
うち女性数	21人	5人	16人
救命士数	94人	25人	69人
車両数			
消防自動車	10台	3台	7台
救急自動車	10台	3台	7台
はしご車	2台	1台	1台
救助工作車	2台	1台	1台
火災時ポンプ車数	7台	3台	4台
火災件数(28年中)	72件	13件	59件
救急隊数	10隊	3隊	7隊
救急件数(28年中)	15,274件	3,866件	11,408件
予算額	3,259,189千円		
草加市負担額	2,283,899千円		
八潮市負担額	975,290千円	1,021,809千円	▲46,519千円

草加八潮消防局 H30. 4

項目	平成30年度現在
職員定数	331人
職員実数	331人
うち女性数	22人
救命士数	100人

平成29年中災害出動状況【速報値】

	草加市	八潮市	合計
火災件数	44件	37件	81件
建物火災	28件	25件	53件
車両火災	2件	3件	5件
その他火災	14件	9件	23件

	草加市	八潮市	合計
救急件数	11,149件	4,177件	15,326件
急病	7,059件	2,555件	9,614件
交通事故	1,091件	426件	1,517件
一般負傷	1,622件	585件	2,207件
その他	1,377件	611件	1,988件